

ふれあい情報

2020年 9月3日(木) 第317号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田那智子
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

コロナ禍の時代、人の命・生活を守るため、しっかり運動していこう 安心して生活できる政治、国民優先の政治を実現しよう



第1回幹事会報告(8・25)

退職者連合は、8月25日2020年度第1回幹事会を開催しました。2020年度の定期総会にはコロナ禍のため開催を見送り、運動方針、予算案、政策・制度要求などについては、総会予定日に開催した19年度第7回幹事会で提案し、書面審議に付していましたが、全議案全頁(構成員は産別退連・地方退連の代表者各1名)一致で承認され、第24回定期総会の終了を確認しました。

人見一夫会長あいさつ

新型コロナウイルス累計感染者は世界で2344万人、そのうち亡くなった人は80万人を超えました。日本での累計感染者は6万3000人、亡くなった人は1200名とまだまだ続いています。世界ではアメリカの感染者数が一番多いが、その理由としてトランプ大統領がコロナを重視していないと考えられます。11月3日にはアメリカ大統領選挙がおこなわれますが、トランプ現大統領はアメリカ第一主義を主張し、対するバイデン候補は国民の団結と連帯、世界の協調を主張しています。協調・連帯なくしてコロナ感染拡大を抑え込むことはできません。現在、開発が行われているワクチンができて、その配布が難民や貧困層にいきわたらなければ、コロナ感染の拡大を抑えることはできません。年末には感染者数が1億人になるのではないかと言われています。多くの人の命をどう守るか、生活をどう守るか、しっかり対応していかなければなりません。

第24回定期総会議案 書面審議議決結果 (議決数 産別退連24 地方退連47)

議案	結果	結果
2019年度一般活動報告	承認=71	不承認=0
2019年度会計決算報告・監査報告	承認=71	不承認=0
第1号議案：2020年度運動方針	賛成=71	反対=0
第2号議案：2020年度予算	賛成=71	反対=0
第3号議案：2020年度政策・制度要求	賛成=71	反対=0
第4号議案：低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求	賛成=71	反対=0
第5号議案：退職者連合における男女平等参画推進計画について	賛成=71	反対=0

※第24回定期総会にはコロナ禍により書面審議となった。今回は現行規約にない対応のため、規約の定めと一部合致していない。今後このような事態に対応できる規定を整備するため、第25回定期総会で規約・規定の見直しを図る。

協議事項1

「日本退職者連合第24回定期総会の終了」を確認しました。

政治の流れを変えていくことが求められています。自民党がどんなことをしても、それに對抗する受け皿がないのでは力になりません。大きな塊、政権交代可能な政党をつくる必要があります。国民が安心して生活できる政治、国民優先の政治が大事。政治の流れを大きく変えるためにも我々は連合と一体となって取り組んでいきます。

協議事項2 「コロナ禍で見えたジェンダー平等に関する要請について」

質疑等なく確認されました。8月27日に内閣府橋本聖子担当大臣に人見一夫会長・石原喜久男女平等参画推進委員会委員長名で要請しました。(次号で報告します)

コロナ禍で見えたジェンダー平等に関する要請

介護職に対する処遇改善を図り、人材の確保に取り組むこと。

被害者保護や生活支援にとりくむこと。



提案する本村富美子 担当常任幹事

1. 憲法の「国民は個人として尊重される」に基づき、世帯主義を改めること。
2. 選択的夫婦別氏制度の早期導入を図ること。
3. 家事・育児・介護などのケア労働が、女性に偏っている現状を放置することなく、男女で分かち合うための取り組みを進めること。また、
4. コロナ禍にもなう、介護分野でのショートステイの受け入れ休止、単身高齢者の生活支援やサービスの休止に伴う負担を同居女性に押し付けず、福祉支援体制の整備を図ること。
5. 自粛生活によるDV被害・虐待が増えていること
6. 非正規雇用に従事する女性、外国人労働者、障がい者、高齢者に共通する貧困への支援施策をすすめること。
7. 医療・コロナ対策に係る審議会など意思決定の場合女性の参加を推進すること。

2020年度「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」(内閣府主催)



定年をU A ゼンセンの教育センター・友育センター

勝部幸平さん(U A ゼンセン友の会・退職者連合推薦)

造や、かけがえのない家族・友人との大切な時間をより多く得るための社会運動なのです

定年を迎えるに際して、考えたスタイルは、「エコな生活で楽しく」。趣味と実益を兼ねて、夏は鮎とり、冬は猪狩り。グローバル社会でたくましく生きていける体験を中心に活動しています。地域活動も楽しく、荒廃した森の再生活動、雑木の伐採、植林、マキ

愛の丘で迎え、第二の人生をスタートさせました。50歳代にデンマークで開催された国際自由労連の教育担当者会議に参加した後、ドイツに立ち寄り組合リーダーと居酒屋で一献した時の話です。「我々ドイツ人も勤勉ですが、日本人と一つだけ大きい違いがあります。労働時間短縮は、生きがいを感じる趣味の創

をつくり、炭焼き、椎茸の植栽などを

おこない、得た収入で仲間との里山交流をおこなっています。人間の営みを感じられるコミュニケーションツールが大事と地域ローカルネット新聞(「たけべ新聞」、インターネット)で見てくださいを4年ほど前から仲間と一緒に発刊、地域の人々だけでなく読者は海外にも。後期高齢者を目の前にして、これからも、好奇心と創造力を回転させて生きていければなあ、と日々暮らしています。

協議事項3 「専門委員会の設置構成と機関会議開催日程について」

協議事項4 「運動方針の具体化について」

五十嵐久幹事(日本郵政グループ労働組合退職者の会)から三役会議の位置付けについて意見があり、松本惟子幹事(連合本部退職者の会)から、「第5次男女共同参画基本計画に、コロナ禍で見えたジェンダー平等に関する要請の文言が入るよう検討を」との要望があり、事務局見解を受け、承認されました。

協議事項5 「30周年実行委員会の設置について」

退職者連合は2021年、30周年を迎えることから「30周年実行委員会」を設置し、記念行事(レセプション・年史作成)の具体的な作業をすすめます。質疑なく承認されました。(実行委員会委員は会長、副会長、常任幹事、事務局で構成)

2020年度政策・制度要求運動の展開を確認

書面審議により、「2020年度の政策・制度要求」「低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求」を決定したことを受け、それぞれの地方、地域・地区において自治体要請、議員要請等の行動の展開を確認しました。運動の期間は、本年12月末までとし、可能な限り、それぞれの地方・地域が抱える課題を加えることとします。(報告は2021年1月28日まで)

田村雅宣副事務局長退任

出身組織(U A ゼンセン友の会)の事情で8月末をもって退任されました。一年間の短い間でしたが、この間の尽力に感謝し、今後のご活躍を祈念いたします。